

## ⑨ 資 料

1	食は東南アジアにあり	星野 龍夫	S 59・10
2	焼酎讃	鈴木 博	S 52・1
3	ティーロードー日本茶の来た道	松下 智	H 5・10
4	女の心菓子	千代 芳子	S 63・10
5	再現江戸総菜事典	川口はるみ	H 7・12
6	球磨焼酎二十九面相	末吉 駿一	H 11・10
7	つけもの風土記	酒井佐和子	S 44・12
8	東アジアの食文化探検	周 達夫	H 3・7
9	聞き書 福岡の食事	中村 征夫	S 62・2
10	〃 佐賀の食事	原田 角郎	H 2・11
11	長崎料理歳時記	小川雄一郎	H 11・5
12	麺・イモ・茶	NHK取材班	H 2・5
13	泡盛	沖 縄 県	H 8・10
14	あわもり	沖縄県立博物館友の会	H 3・3
15	羊羹資料館案内	村岡総本舗	H 8・10
16	肥前の菓子	〃	H 11・2
17	源氏の由可里	吉川冬季子	S 60・12
18	長崎の食文化	村山 元紀	H 6・4
19	ふるさととお菓子	蒸 気 屋	H 14・11
20	日本の菓子	亀井千歩子	H 8・8
21	まともな食べ物が食べたい	金丸 弘美	H 9・11
22	しにせの味の心	サンデー毎日編	S 46・5
23	華僑コネクション	樋泉 克夫	H 5・8
24	和白干潟の生きものたち	逸見 泰久	H 6・9
25	アジアルネサンス	角山 栄	H 7・2

26	琉球の風	陳 舜臣	H 4・9
27	福岡はなぜ元気か	毎日新聞福岡総局	H 12・9
28	スーパーラット	金丸 弘美	H 12・12
29	阿蘇グリーンストック	佐藤 誠	H 5・9
30	アジアの都市と建築	加藤 祐三	S 61・12
31	チョコリと鎧	池 明観	S 63・12
32	嬉野湯宿物語	古賀 敏明	H 2・8
33	徳之島の闘牛	松田 幸治	S 57・12
34	福岡県の植物	福岡植物友の会	H 3・6
35	世界の都市の物語7 ソウル	姜 在彦	H 4・7
36	光の街影の街	海野 弘	S 62・6
37	幕府挑発	伊牟田比呂多	H 12・12
38	中国民族誌	周 達生	S 55・6
39	臼杵石仏	賀川 光夫	H 7・5
40	走れ！ライター独立宣言	金丸 弘美	H 10・12
41	仮面と信仰	中村 保雄	H 5・4
42	九州の明治文化財	日本観光協会九州支部	S 43・10
43	日本のむらの百年	光山 俊直	S 42・12
44	ダイオキシン	宮田 秀明	H 11・3
45	鉄道のすべてがわかる事典	川島 令三	H 12・10
46	河童	大島建彦編	S 63・4
47	新しい住宅を求めて	藤岡 洋保	H 4・12
48	用と美	南日本新聞社編	S 41・2
49	歎異抄入門	本多 顕彰	S 39・7
50	福岡県の樹木	猪上 信義	H 10・11
51	水とエネルギーの循環経済学	田島代支宣	H 13・4
52	景德鎮陶磁芸術	江西美術出版社	H 5・5

53	物語の中世	保立 道久	H 10・11
54	世界都市再開発NOW	関西情報センター	H 1・7
55	放送—その過去・現在・未来	土屋 精作	H 7・3
56	「みやこ」という宇宙	園田 英弘	H 6・4
57	女がまちをつくる	市町村シンポジウム実行委員会	H 1・10
58	ムツゴロウが教える日本の起源	久光 教弘	H 7・3
59	アジアは街に訊け	市川 隆	H 6・11
60	暮らしに生きる竹	濱田 甫	H 8・12
61	さつま今昔	NHK鹿児島放送局	S 58・8
62	リゾートの思想	一条 真也	H 3・2
63	唯我独尊の国から	西日本新聞文化部	H 12・10
64	カンガルーの憂鬱	高田真理子	H 12・9
65	博多織と佐賀錦	西村 允孝	S 54・3
66	中国名勝旧跡事典2	中国国家文物事業管理局	S 62・3
67	まちづくり読本	延藤 安弘	H 2・5
68	「まさか、私が…」	武藤 俊之	H 13・11
69	都市空間の感性	柏木 博他	H 4・1
70	シーボルトの絵師	金子 厚男	S 57・3
71	広島県百名山	中島 篤巳	H 10・10
72	むらからの便り	末永 昌巳	H 5・3
73	トランスアーキテクチャー	菊池 誠	H 8・5
74	韓国がわかる 11人の視点	多田則明編	H 6・5
75	25人のなぐり込み美学	上田 恵子	S 62・1
76	戦後誌	朝日新聞西部本社	H 7・10
77	雲仙噴火の日々	小林松太郎	H 4・8
78	熊本城	藤岡 通夫	S 51・4
79	噴火と闘った島原鉄道	葦 書房 編	H 10・4

80			
81	熱烈オーエン大好きマンガ	夢本編集部編	H 4・7
82	スペインー生命の印象	松石 泉	H 4・4
83	諸国名所北斎と広重	榎崎 宗重	S 39・12
84	江戸の風呂	今野 信雄	H 1・2
85	習事十三箇條	干 宗左	S 32・11
86	東西の服装史	杉本正年他	S 60・4
87	美術館とは何か	大島 清次	H 8・6
88	博多館からミュージアムへ	上田 篤	H 1・3
89	かごしまの美術館	四蔵 典夫	H 8・9
90	仏教の勝利	梅原 猛	S 55・3
91	音の風景とは何か	山岸美穂・山岸 建	H 11・6
92	アジア読本台湾	笠原政治・植野弘子	H 7・8
93	匠の技とこころ	福島 建治	H 12・7
94	海のシルクロードとベトナム	日本ベトナム研究会議編	H 5・11
95	新説・日中古代交流を探る	いき 一郎	H 1・4
96	マダム貞奴	杉本 苑子	S 50・1
97	とっばすの風	宮崎 暢俊	H 6・10
98	理解することへの抵抗	加藤 典洋	H 10・10
99	水辺と都市	上田 篤	S 61・5
100	名前を探る旅	中村 尚樹	H 12・8
101	ウォーターフロント開発の手法	横内 憲久	S 63・5
102	モンゴル草原サイシンガ家人々	木村 哲行	H 6・3
103	中国古陶磁入門	中島誠之助	H 8・7
104	アダンの画帖	南日本新聞社	H 7・4
105	日本文化と八幡神	佐々木孝二	H 1・10
106	日本の近世	朝尾直弘編	H 3・6

107	サンアントニオ水都物語	ヴァーノン・G・ズンカー	H 2・4
108	新・韓国風土記第一巻	ソウル市(根の深い木)社編	H 1・8
109	子どもたちが見つけたありがとう	RKB 毎日放送ラジオ制作部編	H 12・10
110	日本人と美	佐山 道雄	S 45・11
111	地球環境時代のデザイン潮流	池亀 拓夫	H 9・11
112	海も天才である	中村 征夫	S 60・5
113	留学生が見た日本	岩男寿美子・萩原 滋	S 62・2
114	女性編集者	アリス・マクダーモット	S 59・10
115	ヴェネツィア	陣内 秀信	S 61・6
116	貧乏なクィンテット	たばたとしあき	H 10・8
117	スズメ百態面白帳	大田 真也	H 12・12
118	茶の世界史	角山 栄	S 55・12
119	ひも	道明新兵衛	S 38・3
120	倭人の絹	布目 順郎	H 7・2
121	イギリスのそよ風によって	矢木 信男	H 6・3
122	アジア読本ヴェトナム		H 7・11
123	長崎ピーストレイル	MUPながさき	H 7・7
124	みやざきの文学	宮崎県芸術文化協会	H 17・1
125	宗像の歴史と文化財	宗像市教育委員会	S 63・3
126	古代を考える太宰府	田村圓澄編	S 62・5
127	古代学最前線	中村 俊介	H 10・3
128	九州戦国合戦記	吉永 正春	H 6・11
129	玄界灘に架けた歴史	姜 在彦	S 63・5
130	天草キリシタン史	北野 典夫	S 62・4
131	天文館の歴史	唐鎌 祐洋	H 4・9
132	北九州 - 縄文より維新まで -	箭内健次編	S 43・11
133	書紀と九州王朝	吉田 舜	H 4・6

134	ザビエルとヤジロウの旅	大住 広人	H 11・8
135	異国と九州	地方史研究協議会	H 4・10
136	遙かなる奴国	藤島 正之	S 63・7
137	歴史的文化遺産が生きるまち	石橋全国連絡会議	H 7・9
138	歴史の町並み再発見 九州・沖縄・山口・島根	読売新聞西部本社編	H 5・9
139	日本の中の朝鮮文化	金 達寿	S 63・4
140	古代海人の謎	田村圓澄・荒木博之編	H 3・3
141	甦る中世の博多	朝日新聞福岡総局編	H 2・8
142	博多町人と学者の森	〃	H 8・2
143	海の正倉院沖の島	武藤 正行	H 5・9
144	それは九州に始まった1～3	テレビ西日本	H 1・6
145	鴻臚館の時代	朝日新聞福岡総局編	S 63・5
146	続・邪馬台国研究の死角	次郎丸達朗	H 5・9
147	海寇うみのぞく上・下	和田 武久	H 3・8
148	バテレンと宗麟の時代	加藤 知弘	H 8・11
149	九州と日本社会の形成	横山浩一・藤野保	S 62・1
150	那覇の空間構造	吉川 博也	H 1・6
151	図説琉球王国	高良倉吉・田名真之	H 5・2
152	倭国ここに在り	吉留 路樹	H 3・11
153	五島史と民俗	平山 徳一	H 1・10
154	坊津	森 高木	H 4・4
155	首里城入門	首里城研究グループ	H 1・9
156	九州の風土と歴史	川添昭二・瀬野精一郎	S 52・8
157	しものせき市制百年	毎日新聞下関支局編	H 1・3
158	九州王朝一元論	吉田 舜	H 5・9
159	まほろばの邪馬壹国	光朝和辰明	H 8・2

160	元寇物語	田中 政喜	S 45・8
161	近世初期天草キリシタン考	今村 義孝	H 9・5
162	史都平戸	松浦資料博物館	S 37・1
163	筑紫ものがたり	朝日新聞社	S 42・8
164	カクレキリシタンの信仰世界	宮崎賢太郎	H 8・11
165	九州の精神的風土	高松 光彦	S 55・12
166	近世に生きる女たち	福岡地方史研究会	H 7・5
167	沖縄の年中行事	崎原 恒新	H 1・5
168	沖縄の民俗とそのルーツ	窪 徳忠	H 2・9
169	沖縄地名考	宮城 真治	H 4・1
170	琉球王朝史	新里 金福	H 5・1
171	新版・琉球の時代	高良 倉吉	S 55・12
172	対馬物語	田井友季子	H 3・5
173	対馬の歴史探訪	永留 久恵	S 57・9
174	対馬の庶民誌	城田 吉六	S 58・12
175	対馬の地名とその由来上・下	藤井 郷石	S 62・1
176	古代日本と対馬	永留 久恵	S 60・12
177	境界の異俗	高澤 秀次	H 1・12
178	赤米伝承	城田 吉六	S 62・9
179	わが町の歴史小倉	米津 三郎	S 56・7
180	長崎発・歩く考える	片寄 俊秀	H 5・8
181	海外情報と九州	姫野 順一	H 8・8
182	長崎歩く考える	片寄 俊秀	S 60・5
183	長崎発・町並み素描る旅	〃	H 5・8
184	蘭学の背景	石田 純郎	S 63・5
185	九州キリシタン風土記	濱名 志松	H 1・6
186	煙を星にかえた街	四方 洋	H 3・9

187	紫川マイタウン・アイリバー物語	北九州市	H 8・10
188	「鉄の都」は甦る	吉田 宏	H 2・11
189	読む絵巻小倉	米津 三郎	H 2・10
190	北九州市の歴史的建造物	北九州市	H 1・9
191	北九州彩時記 夏季編	〃	H 2・8
192	〃 冬季編	〃	H 1・12
193	〃 春季編	〃	H 2・5
194	長崎居留地 一大いなる遺産	長崎市	H 1・3
195	福岡城物語	朝日新聞福岡本部	H 8・5
196	古代海人の謎	田村圓之・荒木博之	H 3・3
197	博多商人とその時代	武野 要子	H 2・7
198	秀吉と博多の豪商	工藤 澁也	H 9・11
199	はかた彩時記	古川 忠	S 58・7
200	博多大正世相史	井上 精三	S 62・8
201	博多山笠	プラニング秀巧社	H 6・6
202	ふるさと歳時記	福岡市	H 5・3
203	博多織を識る	畑野与惣治	S 45・1
204	筑前の街道	近藤 典二	S 60・4
205	ハカタはかた	朝日新聞福岡総局	S 44・10
206	海が語る古代交流	〃	H 1・12
207	古代の都市博多	〃	H 1・4
208	博多ことば	江頭 光	H 10・6
209	江戸の博多と町方衆	朝日新聞福岡総局	H 7・5
210	福岡の歴史	福岡市	S 54・10
211	福岡の文化 30 年	〃	
212	宝満山歴史散歩	森 弘子	H 12・5
213	現代紀行文学全集 南日本篇	志賀直哉 } 監修 佐藤春夫 } 川端康成 }	S 35・6



214	日向灘沿岸をゆく	三又 喬	H 9・7
215	ふるさと－史跡と風土をたずねて－	熊 本 市	S 55・8
216	新熊本文学散歩	山崎 貞士	H 6・10
217	油山へ行こう	城 南 区	H 8・8
218	博多歴史散歩	白石 一郎	S 48・9
219	熊本歴史散歩	荒木 精之	S 47・9
220	宮崎県の歴史散歩	宮崎県高等学校社会科研究会	H 2・6
221	福岡県の山歩き	福岡山の会	H 12・4
222	九重山博物誌	梅木 秀徳	H 9・8
223	福岡県地名考	梅林 孝雄	H 12・11
224	島原街道を行く	松尾 卓次	H 9・10
225	九重の自然と歴史	松本 徂夫 他著	H 10・6
226	かごしま散歩画帖	オフィス亜徒夢	H 7・4
227	ぶらり宮崎散歩道	楠山 永雄	H 8・3
228	九州の温泉と山	足利武三・井上優	H 4・4
229	沖縄県の歴史散歩	沖縄歴史研究会	S 52・3
230	沖縄歴史散歩	大城 立裕	S 55・12
231	台北歴史散歩	莊 民 鵬	H 3・4
232	九州河童紀行	九州河童の会	H 5・4
233	福岡県の歴史散歩	福岡県高等学校歴史研究会	H 1・11
234	全国名湯・秘湯めぐり	望月 一虎	H 8・9
235	福岡市・北九州市はいま	落合英秋・森脇喜一	H 5・5
236	おとなの遠足	勝瀬志保・竜田清子	H 11・4
237	大分県の山歩き	吉川 満	H 1・6
238	博多文学案内	原田 種夫	S 47・5
239	奄美・もっと知りたい	神谷 裕司	H 9・7
240	新しいまりの歴史散歩	伊万里市郷土研究会	S 51・11

241	柳川と筑後路	角田 嘉久	S 52・7
242	北九州の山と自然	帆柱自然公園愛護会	H 5・10
243	福岡を歩く	石井忠他著	S 60・5
244	長崎県の山歩き	林 正康	S 62・11
245	福岡・佐賀県の山歩き	吉川 満	H 4・11
246	ここにほんとうの空を	小台三四郎	S 41・6
247	亭主の居場所	深田 俊祐	H 12・4
248	博多んもんの詩「山笠生命の男たち」	大庭 宗一	H 4・4
249	河伯洞発掘	鶴島 正男	S 60・12
250	うたがき炭鉱記	伊藤 時雨	H 9・2
251			
252	玄海の島々	野間 吉夫	S 48・9
253	福岡鉄道風土記	弓削 信夫	H 11・1
254	私の筑豊物語	玉井 政雄	S 55・7
255	鷗外「小倉左遷」の謎	石井 郁男	H 8・3
256	美の回路—九州のかたち探訪—	藤本 健八	H 7・10
257	光溢れる南の島よ	中村 地平ほか	
258	日本随筆紀行 宮崎・鹿児島・沖縄		H 63・6
259	炭坑節物語	深町 純亮	H 9・11
260	九州山地に生きる	朝日新聞社編	H 6・3
261	島の時間	赤瀬川原平	H 5・8
262	九州芸術風土記	劉 寒吉	S 58・3
263	日本の民俗 福岡	筑紫 豊	S 49・4
264	〃 佐賀	市場直次郎	S 47・4
265	火の神・山の神 九州の俗面考	高見 乾司	H 7・8
266	九州の工芸地図	後藤 完一	S 54・3
267	市川のまつり	矢俣九州男	S 53・9

268	西日本民俗博物誌 <上> <下>	谷口 治達	S 53・8
269	文学碑の旅 西日本	丸山 豊ほか	S 60・4
270	南九州の仮面	黎明 館	H 4・1
271	画文集新博多風土記	福岡文化連盟	S 58・5
272	西日本風土記	西日本新聞社	H 4・6
273	平和の礎 V～VIII シベリア強制抑留者が語り継ぐ苦労	平和祈念事業特別基金	H 7～
274	平和の礎 V～VIII 海外引揚者が語り継ぐ苦労	〃	H 7～
275	平和の礎 V～VIII 軍人軍属短期在職者が語り継ぐ苦労	〃	H 7～
276	木下邦子展	木下 邦子	S 57・5
277	俳句の上達法	鷹羽 狩行	S 63・1
278	俳句鑑賞入門	永田 義直	S 58・5
279	俳句用語の基礎知識	村山古郷・山下一海	S 59・1
280	俳句上手になる本	楠本 憲吉	S 60・7
281	俳句入門	秋本不死男	S 46・11
282	現代俳句 上巻	山本 健吉	S 27・6
283	真理は生活にあり	谷口 雅春	S 53・10
284	天の手紙 (上) (下)	恒岡 一郎	S 29・4
285	日蓮正宗・方便品寿量品講義	戸田 城聖	S 33・2
286	回天の聖者	李 祥昊	S 61・5
287	御書と四条金吾	池田 大作	S 50・5
288	続聚秀録	佼成出版社	S 40・11
289	雄飛ヶ丘の靖春	瀬尾 一彦	H 5・5
290	他人さえもいとおしく	宮城 顥	H 13・10
291	自分を愛するということ	〃	H 12・10

292	「朝の読書」がもっと楽しくなるアイデア集	穴見 嘉彦	H 13・10
293	念仏者のしるし	大江 憲成	H 16・10
294	子育てのQ & A	大城 清	H 12・12
295	浄土の歎き (上) (中)	平野 修	H 10・7
296	仏説無量寿経 上巻・下巻	古田 和弘	H 16・10
297	東洋陶磁名品展	日本経済新聞社	S 56・10
298	20世紀の巨匠たち	フジカワ画廊	S 62・3
299	ルノワール印象派の巨匠たち展	福岡市美術館	S 61・11
300	茶陶高取	福岡市教育委員会	S 56・10
301	田川市美術館 10年のあゆみ FUKUOKA STYLE	田川市美術館	H 13・10
302	Vol.1 水辺都市		H 3・1
303	Vol.2 北九州ルネサンス海峡物語		H 3・6
304	3 朝鮮通信使		H 3・12
305	4 都市の住まい方		H 4・4
306	5 歴史の町並み PART 1		H 4・8
307	6 屋 台		H 5・1
308	7 博多と堺		H 5・7
309	8 ものづくり風土記		H 5・12
310	9 博多祇園山笠		H 6・6
311	10 文学のある風景		H 6・12
312	11 アジアの市場+九州の市場		H 7・5
313	12 西海の捕鯨		H 7・10
314	13 歴史の町並み PART 2		H 8・1
315	14 石に聞く		H 8・5
316	15 肥前の磁器		H 8・8
317	16 有明海大全		H 8・12

318	17 九州温泉国		H 9・3
319	18 博物館へ行こう		H 9・6
320	19 九州茶のふるさと		H 9・9
321	20 創刊 20 号記念 いま、福岡		H 10・1
322	21 九州と南蛮文化		H 10・4
323	22 陶器いろいろ		H 10・7
324	23 焼酎礼賛		H 10・10
325	24 山頭火がゆく		H 11・1
326	25 九州芸能集成		H 11・5
327	26 洋学の九州		H 11・9
328	27 九州シネマパラダイス		H 12・4
329	Vol.28 食の王国・九州		H 12・6
330	29 美術館へ行こう		H 12・10
331	30 九州の神々		H 13・2
332	私の博物誌	赤間関書房	S 50・4
333	英彦山	読売新聞西部本社	S 50・9
334	下関の方言	冨田 義弘	S 52・4
335	なにわ職もよう	朝日新聞大阪本社	
336	商は笑なり	毎日新聞大阪本社	
337	韓国からの便り	倉橋 葉子	
338	日本破局のシナリオ	古賀 一成	
339	日韓共生への道	安 光浩	
340	榎橋渡伝		S 57・5
341	幾山河	瀬島龍三回想録	H 7・9
342	文協おおかわ 20 ～	大川文化協会	H 10～
343	輝く サードエイジへ	九州シニアライフアドバイザー協会	H 20・6
344	企業トップ 32 人のこの一冊	住友生命	H 7

345	日本建築雑作図案	金子 清吉	T 15・4
346	長崎大水害体験記	長崎県印刷工組	S 57・7
347	日本の鍔金いものの形	麻生美術工芸館	H 8・11
348	図録 津留誠一	津留 誠一	H 17・7
349	豊田勝秋	中牟田佳彰	S 52・4
350	檀	沢木耕太郎	H 12・8
351	檀一雄作品集	長野 秀樹	H 8・5
352	人間 檀一雄	野原 一夫	S 61・1
353	檀一雄追悼 特集号	ポリタイア	S 51・7
354	底鳴る潮 青木繁の生涯	渡辺 洋	S 63・9
355	活佛の微笑	水原 渭江	H 25・5
356	佛者の眼	〃	H 10・2
357	琴窓夜話	〃	S 25・10
358	五臓元気で認知症知らず	賀久 一郎	H 27・9
359	石橋正二郎 情熱の足あと	西日本新聞社	H 21・12
360	書学遊心	武藤 佳峯	H 28・
361	夏目漱石 周辺人物事典	原武 哲他	H 26・8
362	子や孫に伝えたい水と食料の話	松尾 宏	H 29・6
363	御墨図録	蔵 萬 堂	H 29・11
364	抜萃のつづり その76・77	株式会社熊平製作所	H 30・1
365			
366	石橋正二郎 遺稿と追想	プリヤストーンタイヤ(株)	S 53・9
367	抜萃のつづり その78	株式会社熊平製作所	H 31・1
368	道元明明百草の夢	花岡 光男	
369	抜萃のつづり その80	㈱クマヒラホールディングス	R 3・1
370	花の姿	池坊 専威	S 18・11
371	花心粧	正法地秀圃	S 29・10

372	日本花道史	西堀 一三	S17・1
373	茶 花	西堀 一三	S24・3
374	茶道の歴史	桑田 忠親	S42・8
375	茶の湯おしえ草	上田 宗福	S46・1
376	花	西山松之助	S53・10
377	日本の生花	西堀 一三	S42・4
378	花のこころ	山本 静山	S42・6
379	暮らしの中の花	工藤 和彦	S36・1
380	いけばなに生きた人びと	吉村 貞司	S48・11
381	花伝書	勅使河原蒼風	S54・11
382	茶花図譜	西堀 一三	S38・2
383	茶・花・香	芸能史研究会	S45・8
384	花のこころ	中山 文甫	S49・3
385	いけ花の初め	西堀 一三	S43・10
386	古典の花	松田 修	S51・11
387	花の心	湯川 制	S46・6
388	利休の花花	湯川 制	S45・5
389	いけばな人物史	北條 明直	S54・2
390	いけばな公論 創刊号		S54・3
391	抜萃のつづり その81	㈱クマヒラホールディングス	R4・1
392	茶 茶 茶	南 廣子	H2・7
393	茶のすがた	千 宗 室	S53・4
394			
395			
396			
397			
398			